

11月21日

テーマ：「ルステラ宣教」

聖書箇所：使徒の働き14章8～18節

◆今日のみことば

言った。「皆さん。どうしてこんなことをするのですか。私たちも皆さんと同じ人間です。そして、あなたがたがこのようなむなしいことを捨てて、天と地と海との中にあるすべてのものをお造りになった生ける神に立ち返るように、福音を宣べ伝えている者たちです。」

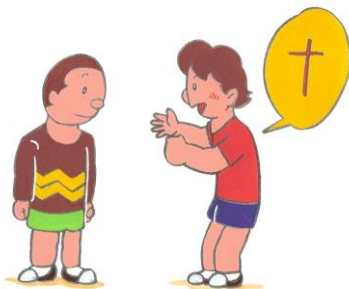
使徒の働き14章15節

◆メッセージ

ルステラというところで、パウロさんとバルナバさんはイエスさまのメッセージを語っていました。そこに、生まれながら足が悪く歩いたことがなかった人がいました。語っていたパウロさんは、彼に目を留め、イエスさまだったら治してくださるという信仰があるのを見て、「自分の足で、まっすぐに立ちなさい」と言いました。すると、彼は飛び上がって歩き出しました。パウロさんのしたことを見た群衆は、パウロさんとバルナバさんを神さまだと思って、「神々だ。人間の姿をした神々だ」と叫び出して、二人にささげものをしようとしました。二人は群衆が神さまを汚すふるまいをするのを見てびっくりし、大あわてで、「自分たちは普通の人間であり、足の悪い人を歩くことができるようにしたのは、天と地と海、それにその中のすべてのものをお造りになった、まことの神さまです」と、彼らにいけにえをささげるのをやめさせました。



私たちが、お友だちの病気のために祈ったり、なくしたものがみつかるように祈ったとき、病気が治ったり、なくしたものがみつかることがよくあります。その時、「ぼくが祈ったから、私が祈ったから祈りがきかれたんだよ」と言って、自分を自慢しないようにしましょう。祈りにこたえて病気を治して下さり、なくしたものをみつかるようにして下さったのは、天地を造られたまことの神さまだからです。だから「まことの神さまの恵みです」と言って、まことの神さまを友だちに紹介するチャンスにしましょう。



◆お祈り

「天と地をお造りになった神さま。祈りにこたえてくださった時、それをあなたを紹介するためのチャンスとすることが出来ますように」

(松原聖書教会牧師 野口富久)